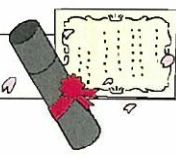


3月 【3月の行事予定】

日	曜	行 事 予 定
1	金	通学路セーフティネットの日 安全点検 6年お別れ遠足 登校指導1年
4	月	卒業生を祝う集会(1・2限) 登校指導6年
5	火	卒業式練習開始 登校指導5年
6	水	委員会 P実行委員会 登校指導4年
7	木	6年社会見学(県庁) 登校指導3年
8	金	登校指導2年
13	水	お別れ式・卒業式予行
14	木	よみきかせ
18	月	大掃除 卒業式準備 
19	火	お別れ式・卒業式
20	水	春分の日
21	木	給食終了
22	金	終業式
29	金	離任式

【4月の主な行事予定】

4月

4月 8日(月)	始業式
4月 9日(火)	入学式
4月 10日(水)	給食開始(2～6年)
4月 16日(火)	内科健診2・4・6年(午後)
4月 17日(水)	1年給食開始 内科健診1・3・5年
4月 18日(木)	歯科健診2・4・6年(午後)
4月 23日(火)	授業参観・懇談会
4月 24日(水)	全国学力・学習状況調査6年生
4月 25日(木)	歯科健診1・3・5年(午後)
4月 29日(月)	昭和の日
4月 30日(火)	創立記念日(137周年)

3年生 かまぼこづくり

2月5日(火)



3年生が、かまぼこ作りに挑戦しました。初めに、かまぼこ板の代わりに厚紙にアルミホイルを巻いたものを作りました。次に、かまぼこのすり身をせいけいして、自分の好きな形を作りました。かまぼこのすり身は、「えそ」と「ぐち」と言う魚だそうです。そして、蒸し器で、20～35分ぐらい蒸した後、ホットプレートで焼き目をつけたそうです。子ども達は、自分の手で初めて作った『マイ かまぼこ』をおいしく食べたそうです。保護者の方も、何人かお手伝いに来てくれました。ありがとうございました。



1年生 よみきかせ

2月5日(火)



星林高等学校の生徒4人が、1年生に絵本のよみきかせをしてくれました。子ども達は、とても静かに話を聞くことができました。これからも1年生の子どもたちがさらに本を読むことが好きになって欲しいものです。

【わかうら見守り隊の皆様方へ】

本校児童のために、あたたかい声かけや安全の見守りをしていただきましてありがとうございます。



※3月6日(水)

委員会活動のため、1～4年生は、午後1時25分頃に下校します。5・6年生は、午後2時25分頃下校します。

※新1年生…4/10(水)～4/16(火)午前11時45分頃下校

4/10(水) 1年…11:45頃 2～6年…13:25頃下校

4/17(水) 1～6年…13:25頃下校

4/24(水) 1～4年…13:25頃下校

5・6年…委員会終了後、14:25頃下校



和歌浦だより

平成25年3月号

和歌山市立和歌浦小学校



「本年度を終えるにあたり」

校長 中村 民樹

寒暖を繰り返しながら徐々に寒さが緩み、春の訪れを感じるこの頃です。学校の玄関前の桜は今月下旬には見事な桜花が楽しめるのではないかと思います。

さて、本年度も残すところ1ヶ月。1年間の総まとめとして、学習面はもちろん生活面においても心をひきしめて充実した学校生活にしていきたいと思います。

特に、卒業を間近にした6年生は、残された小学校生活の一日一日を大切に過ごしています。今月1日に一緒に学んできた仲間たちと共に白浜アドベンチャーワールドへの「お別れ遠足」、4日には「卒業を祝う集会」で後輩たちとの交流を予定しています。また、先日まで、6年生と校長室給食を行いました。その中で、子どもたちは小学校の思い出や自分の夢について語ってくれました。小学校生活の思い出は圧倒的に修学旅行が多く、仲間と共に楽しく学び合ったことが心に深く残っているようです。一方、将来の夢は、「人の役に立ちたい」や「食べることが好きなので料理人」、「スポーツ選手になりたい」などそれぞれで、なかには「親と同じ仕事をしたい」や「小学校の先生になりたい」など嬉しい話をしてくれる子もいました。目を輝かせ楽しそうに話をする姿に、一人ひとりがたくましく成長していることを実感できたひと時でした。

「為せば成る、為さねばならぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」これは江戸後期の米沢藩主、上杉鷹山の言葉ですが、まさに「ならぬは人の為さぬなりけり」なのであります。夢と希望を持ってどんなことにもチャレンジし、一生懸命努力すれば必ず道はひらけます。3月19日に本校を巣立つ70名の卒業生が、それぞれの夢や目標に向かって、しっかりと自分らしく歩んでほしいと願います。

ところで、本校では「自分の考えや思いをしっかり表現できる子に」育てたいとの願いで教育活動を進めています。特に、言葉は人と人とをつなぐ大切な道具です。言葉は人に伝えるもの、聞かせるものです。相手に言葉を届けることに意味があります。心に届く言葉は、相手への思いやりや状況に応じて伝える努力も必要です。例えば、声が大きすぎても小さすぎても相手には伝わりにくいものです。また、感情的になると、つい言葉も短く切れ、言いたいことがうまく話せません。

小学生の頃はどんどん言葉が発達していく時代です。子どもの年齢や成長に応じて言葉できちんと語れるように、また、自分の気持ちや出来事をうまく話せるように育ててほしいと思います。そのため、学校、家庭、地域の中でも子どもたちがイメージしやすく、頭に描けるような分かりやすい話をするように心がけていきたいと思います。

最後になりましたが、この1年間、子どもたちが安心して学校生活を過ごし、多くのことを学ぶことができたのも保護者の皆様、地域の皆様、本校教育に関係する多くの皆様方のご支援、ご協力のたまものと感謝しております。本当にありがとうございました。

今後とも和歌浦小学校の進展のためご支援、ご協力をお願いを申し上げ、今年度最後の「学校だより」といたします。